

MAPPY

構成員		代表者	中元恵理 (理3年)		
	緒方久美 (理3年)		羽田野路乃 (理3年)	高婧 (工3年)	
	池田沙紀 (人1年)		野尻佳奈子 (人1年)	羽田野誠 (経2年)	

1. はじめに

学内MAPは、新入生に学内の様子を知ってもらおう！と、いうことがきっかけで作り始めました。MAPを作るにあたって、学内のあまり知られていない場所を取り入れることで、新入生だけでなく在学生にとっても新しい発見のあるMAPが完成しました。また、活動をしていくなかで、日本に慣れていない留学生も大学で戸惑っていることを知り、完成したMAPの英語訳、中国語訳したものを作成しました。

今回のプロジェクトでは、学内だけでなく山大周辺にも目を向けたMAPの作成をしました。作成したMAPを通して、多くの人に山口大学を知ってもらおうと共に、山口大学の今の様子も残すことができと思っています。

2. プロジェクトの目的

『山口大学の「今」を残す』ということをテーマにしています。多くの人に利用してもらうだけでなく、MAPは、学内の「今」の様子を形として残すことができるひとつの手段だと考えています。新しくMAPを作り、毎年毎年積み重ねていくことにより少しずつ山口大学の移り変わりを追えるのではないかと思います。また学生目線のMAPをつくることにより、多くのひとにそのまの山口大学の雰囲気伝えることができと思っています。

3. プロジェクトの内容

●MAPの認知度をあげる

前回作ったMAPを身近に使っていただけるように、学内の様々なところに置かせていただきました。また入学式やオリエンテーションやオープンキャンパス等の学校行事にも使っていただきました。

●オープンキャンパス参加

オープンキャンパスのスタンプラリーの台紙を手がけました。

●MAP掲載依頼

MAP裏の山大周辺MAPに載せるお店1店1店に許可をもらいに行きました。

●MAP作製

今回のMAPはイラストレーターを使い、データとしてMAPを残していくことにしました。表は前回同様学内MAP、裏は山大周辺MAPとしました。

4. 活動記録

(4月)

●方針決め

前回のMAPでは表に学内MAP、裏は学内の知られていない場所を載せていました。今回のMAPでは表は前回同様学内MAP、裏に山大周辺のMAPを載せることにしました。

●前年度版MAPの配置（国際交流会館）

前回作ったMAPを留学生にも手にとってもらえるように国際交流会館に配置してもらいました。また、学務の国際交流課にも配置していただきました。

(5月)

●平川公民館訪問（学外MAPについて）

8日に山大周辺の情報得るために平川公民館に話を聞きに行きました。

●40年前の学内映画復刻版鑑賞

大学情報機構の方々が40年前の学生が作製した学内映画を復刻したと聞き見せていただきました。今とは全く違う学内の様子が映っており、私たちもいつかこのような形で山大の「今」を残せていけたらと思いました。

(6月)

●前年度版MAPの配置（各学部，守衛室）

私たちの活動をもっと多くの人々に知ってもらうために，前回のMAPを各学部においてもらえるように許可をいただきました。また，外部の人々にも私たちのMAPを手にとっていただくために守衛室にも置かせていただきました。

●MAPPY意見交流会

9日に利用者の目線から見た意見を得るために国際交流会館で意見交流会を開きました。しかし，宣伝効果が薄かったようで人があまり集まりませんでした。

●国際交流課HPに掲載

MAPが留学生にも活用されているということで国際交流課のHPに掲載されました。

(7月)

●オープンキャンパス用スタンプラリーMAP作り

オープンキャンパスで学内スタンプラリーをするという話を聞いたので，MAPPYの活動を広めるためスタンプラリーの台紙作りをさせていただきました。



図1 スタンプラリー用学内マップ

(8月)

●オープンキャンパス

5日のオープンキャンパス当日は私たちもスタッフとして参加しました。高校生から直接MAPの意見をもらえいい機会となりました。スタンプラリーに参加させていただいて，MAPPYの活動を学内・学外のより多くの人に知ってもらえました。



図2 オープンキャンパス

●おもプロ交流会

8日にプロジェクト間の交流会がありました。残念ながら全てのプロジェクトとの交流はできませんでしたが、他のプロジェクトの活動の様子や意見の交換ができました。その中で、私たちのMAPに「ホタゆに」のホタルの生息地を載せることが決まりました。

(9月)

●新メンバーとの打ち合わせ

新しく1年生が2人新メンバーとして加わりました。私たちの今までの活動をまとめた資料等を使って紹介しました。活動を記録し、残していくことはこれから引き継いでいくためにも大切だと感じました。

(10月)

●MAP作成

イラストレーターを使って本格的にMAP作りを始めました。イラストレーターは初めて使ったのですが、使っているうちに慣れてきました。イラストレーターはメディア基盤センターのパソコンにしか入っていない作業できる時間がとても短いのが欠点でした。

●新入生歓迎会

新メンバーとの中を深めるために新入生歓迎会を行いました。この会でお互いのことを知ることができこれからの活動の先駆けとなりました。

(11月)

●「ホタゆに」さんとの交流

8月の交流会で決定した「ホタゆに」とMAPについての話し合いを行いました。実際にホタルの生息地も見せていただき、他のプロジェクトの活動様子がわかりとてもいい刺激となりました。

●MAP裏掲載店依頼

MAPの裏に山大周辺のお店などの情報を載せるため、各お店に許可をもらいに行きました。MAPに載せるお店は60店近くあったのでみんなで手分けしてまわりました。快く許可をくださるお店が多かったのですが、お店の系列上NGだというお店や、3月いっぱい閉店してしまうお店など様々でした。

●おもプロビデオ撮影

活動の様子を撮影するということで、お店に許可をいただく様子を撮影してもらいました。店側に迷惑のかからないように前日に撮影について伝えておきました。

(12月)

●MAPPYイヤーエンドパーティー

2008年の活動の総まとめと、後期から加わり頑張ってくれた1年生への感謝としてパーティーを開きました。1年間の活動を振り返るとともに、1年生も喜んでくれたので2009年もMAPPYとして良い活動ができると感じました。

(1月)

●MAP作成

1月はテストなどで忙しくメンバーで集まる機会もなかなかもてませんでしたが、空いている時間を見つけてMAP作成の最後の追い込みをしました。パソコンで作成していたMAPの出来栄を印刷し、紙面上で確かめるなどしました。MAPを手にとってみることで完成の喜びが実感できました。

(2月)

●英語訳、中国語訳

完成したMAPの英語訳、中国語訳を依頼しました。中国語訳は、中国からの留学生であるMAPPYのメンバーがしてくれました。英語訳は当初ESSに依頼する予定でしたが、時間の関係で留学生にお願いしました。MAPPYとして、ESSとのつながりをもてなかったことが残念です。しかし、新しく留学生とのつながりができたことは良かったと思います。

5. プロジェクト実施のまとめ

MAPの認知度を上げるため前回作製したMAPを各学部、共通教育棟、留学生会館の計7ヶ所におかせていただいていた。MAPの利用具合を確認するため月1回MAPの補充を行っていました。

表1 各学部のMAP利用枚数

		教育学部	経済学部	人文学部	理学部	農学部	共通教育棟	国際交流会館	計
6月	日本語			1		9			10
	英語			1		3		3	7
	中国語			0		6		1	7
7月	日本語	5	4	2	1	4	13		29
	英語	2	0	0	0	7	4	7	20
	中国語	0	1	0	0	6	4	6	17
8月	日本語	2	1	3	0	4	13		23
	英語	0	0	0	0	4	4	17	25
	中国語	0	0	0	0	3	2	7	12
9月	日本語	3	1	5	0	6	20		35
	英語	0	0	1	0	7	7	0	15
	中国語	0	0	0	0	1	3	1	5
10月	日本語	14	10	2	2	1	19		48
	英語	1	0	1	0	6	4	14	26
	中国語	0	1	0	4	0	5	15	25
11月	日本語	4	5	0	2	4	20		35
	英語	1	0	0	0	2	7	7	17
	中国語	0	1	0	0	3	9	6	19
12月	日本語	2	3	16	2	2	4		29
	英語	0	0	0	0	0	3	0	3
	中国語	1	0	0	0	0	0	2	3
1月	日本語	0	3	0	2	12	5		22
	英語	0	2	0	0	2	1	2	7
	中国語	0	0	0	0	1	2	0	3
計	日本語	30	27	29	9	42	94		231
	英語	4	2	3	0	31	30	50	120
	中国語	1	3	0	4	20	25	38	91

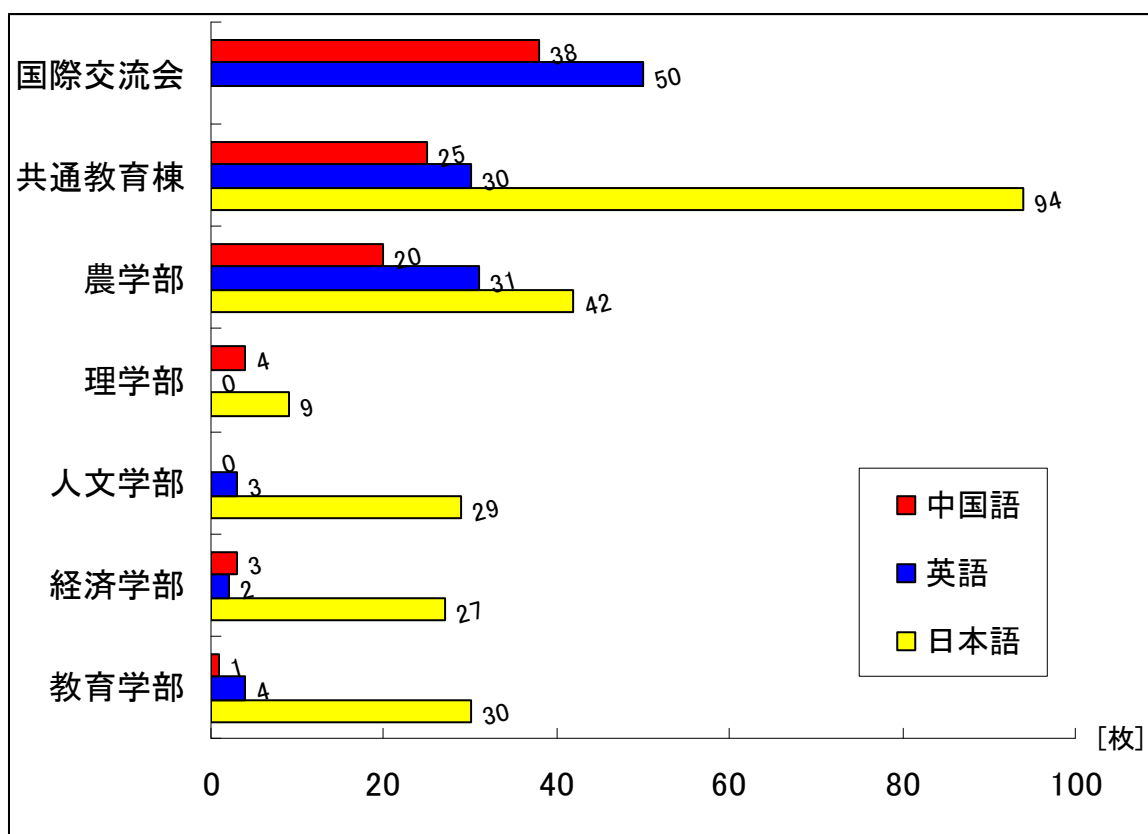


図4 MAP利用枚数

このほかにもオープンキャンパスで、日本語版 121 枚、英語版 24 枚、中国語版 33 枚を手にとっていただきました。今回のMAPは日本語版 5000 枚、英語版 1000 枚、中国語版 1000 枚を発注しています。

1 年間活動をしてきて、MAP の認知度はとても上がったと思います。私たちの作製したMAPは現在学校のどこでも手軽に手に入れることができます。留学生にも手軽に利用してもらうため、学務の国際交流課を訪問したことで繋がりもできました。さらにMAPの知名度が上がって多くの場面で利用してもらえることを願っています。たくさんの方にMAPを手にとってもらえたのですが、利用者からの直接の感想を聞くことがとても難しくMAPのいい所・悪い所など自分たちの目線でしかわかりませんでした。MAPの意見交流会を1度だけ行ったのですが、定期的に関いたり、アンケートを実施したりすることで次回は多くの人からのMAPの意見を取り入れたものができればいいと思います。

オープンキャンパスでは、スタッフとして高校生と直接触れ合うことができ高校生がスタンプラリーで楽しんでいる様子を直に見ることができました。スタンプラリーの台紙を学内MAPとしたことで、MAPとしても利用していただけました。MAP P Yとしてオープンキャンパスに参加できてよかったです。スタッフと密に話し合いをもてていたら、さらによいものができたのではないかと思います。

MAP P Yの主な活動だったMAP作製は、夏休みから実際に作製し始めました、後期からは1年生も加わり、積極的に参加してくれMAP P Yには欠かせない存在となりました。1人1人が個性豊かで、いままでとは少し違った新しいMAPが完成しました。さらにおもしろプロジェクトを通じて、他のプロジェクトとも関わることができました。他のプロジェクトと関わることで、意見交換することによっていい刺激になりました。MAPを作製する際、イラストレーターが必要だったのですがメディア基盤センターでしか利用することができず限られた時間の中での作業となりました。合う時間が無く、なかなか作業が進まなかったのがイラストレーターをいつでも利用できる環境を作ればよかったと感じました。作業の効率が悪く、思ったよりもMAPの作製に時間がかかってしまいました。そのためできあがりギリギリになり、英語版・中国語版の訳の依頼が遅くなってしまいました。中国語訳はMAP P Yのメンバーがしてくれました。英語訳は当初ESSに依頼する予定でしたが、時間が無いため個人的に留学生に依頼することになりました。留学生とのつながりはできましたが、次回からのことを考えるとMAP P YとESSとのつながりを持ちたかったです。今回は、作業の効率についてそれほど問題にはしていなかったのも、もっと余裕を持った計画を心がけたと思いました。

